

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

丹波篠山市立たき認定こども園

園長 谷掛 晴子

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

『たきの子どもを学校・園・家庭・地域みんなで育む』という意識のもと、0歳から小学校就学前まで様々な年齢の園児の発達に応じた環境構成の工夫と丁寧な保育・教育に取り組む。

【教育目標】 ころ豊かに 力いっぱい活動する たきっ子の育成

2 今年度の重点目標

- (1) 安全・安心な園づくり
- (2) 他校種・他団体との連携
- (3) 体験活動の充実
- (4) 研修の充実

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園 運 営	・園児が安全に園生活を送れるような保育・教育活動に努める。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回複数の職員で安全点検を実施し、不具合箇所については速やかに対応した。 ・毎月、あらゆる災害を想定して防災訓練を行い、職員・園児共に安全意識を磨く場とした。年度後半には、告知なしで訓練を行ったが、日頃の訓練の成果が出て避難時の約束が守られていた。
	・園・学級経営の方針・保育内容などについて分かりやすく伝えるように努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる取り組みについて、全職員で共通理解できているという認識でいたが、共有できていない内容があることについては今後職員会議に参加できていない職員への伝達方法を検討していく。 ・園だよりやクラス便り、ドキュメンテーション、ホームページなどで、各クラスの保育活動等について伝えた。
教 育 ・ 保 育 過 程	・自然や生き物と触れ合う機会を大切にし、多様な体験活動を取り入れる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を取り入れた保育や、飼育栽培活動を通して、園児の興味関心が深まるような保育に努めた。 ・保護者の方の協力もあり、今年度1人1匹の幼虫を育てカブトムシの成虫になる過程を観察できたことは園児にとってよい経験となった。
	・保護者・地域・小学校等と連携しながら、温かい人間関係を育む。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の方や地域の方をゲストティチャーに迎え、得意分野についてご指

			<p>導をいただくことができた。内容によっては親子で取り組む機会もあり、園での保育教育の様子を知っていただくことができた。</p>
<p>課題教育</p>	<p>・眠育や食育を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「眠育」では、養護教諭による園内掲示物による指導や啓発を行っている。 園では、午睡の様子をドキュメンテーションで掲示しているが、更に午睡の導入時の様子や低年齢児については午睡チェック表を用いて一人一人の午睡の様子を確認して安全な環境を整えていることを伝えていく必要がある。 ・「食育だより」の発行を毎月行い、園での活動状況や食育の情報発信に努めた。また週に1回、年齢ごとに給食を保護者に見ていただける場所に展示して、送迎時に親子で見てください園給食に興味をもっていただけるよう努めた。 ・学校給食試食会では、給食センターから栄養士の先生を講師に招き、給食センターでの調理や衛生管理について説明を受けた後、試食会を行うことで、学校給食への関心が深まったと感じている。
	<p>・遊びを通して安心感や達成感等を味わい、主体的に生活できるような保育・教育活動に努める。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、園児が興味をもったことについて園周辺や園外に出かけ、地域の方々との交流も行うことで1年かけてあそびを広げることができた。 ・園児の思いに寄り添い、支えることで信頼関係を深め、安心感をもって「こんなことやりたい」と主体的に活動できるような環境構成の工夫に今後も努めていきたい。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

今年度小学校・他園・地域との交流を頻繁に行い、園だけでは経験できないことをたくさん経験することで、子ども達の成長に繋げることができた。こども園の様子や子ども達を知っていただくきっかけづくりができたことは大変良かった。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・講師を招いた親子参加型の行事の開催では、親子で体操をするだけでなく、遊びの種類でどんな力がつくのか等、遊びの目的を教わることができ保護者の方も満足感があつたと感じる。
- ・保護者アンケートでの意見については、意見があつた内容で園として行っている目的を保護者に伝えることが良いと考える。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
○園児が安全に園生活を送れるような保育・教育活動に努める。	<ul style="list-style-type: none">・安全、安心な園となるように点検や管理を行っている。・毎月あらゆる災害を想定して防災訓練を行っている。年度後半には、予告なしで訓練を行ったが園児達はこれまでの訓練が身につけており命を守る行動ができていた。・防災訓練は定期的に行われているが、防犯についても訓練を行っていく必要があると感じる。
○園、学級運営の方針、保育内容などについてわかりやすく伝えるように努める。	<ul style="list-style-type: none">・保護者からいただいている意見については、貴重な意見として真摯に受け止め、改善が必要な部分については改善し、園の方針を説明して保護者の方にご理解をいただく部分については丁寧な説明が必要である。・園からの情報については、紙媒体・配信・掲示・ホームページなどいろいろな方法で伝えている。今後も保護者へ分かりやすく内容を伝えていく方法を検討していきたい。
○保護者、地域、小学校との連携しながら、温かい人間関係を育む。	<ul style="list-style-type: none">・今年度は、地域に出かけ運動会で演技したパラバルーンを地域の方に見ていただく機会を設け、地域の方に褒めていただくことで園児達の自信に繋がることのできた。また小学校との連携も定期的に行い、園児達も小学校への期待をもつことでスムーズな接続ができると感じている。今後地域や小学校との交流を深めて、様々な経験ができる機会を増やすことを願っている。